



日本仮想化技術株式会社

QNAP

Microsoft System Center

連携手順書

2014年12月作成

目次

本書の概要.....	3
System Center 連携に必要なもの.....	3
SMI-S プロバイダーインストール.....	4
SMI-S プロバイダーと QNAP の接続.....	7
System Center と SMI-S プロバイダー連携	11

本書の概要

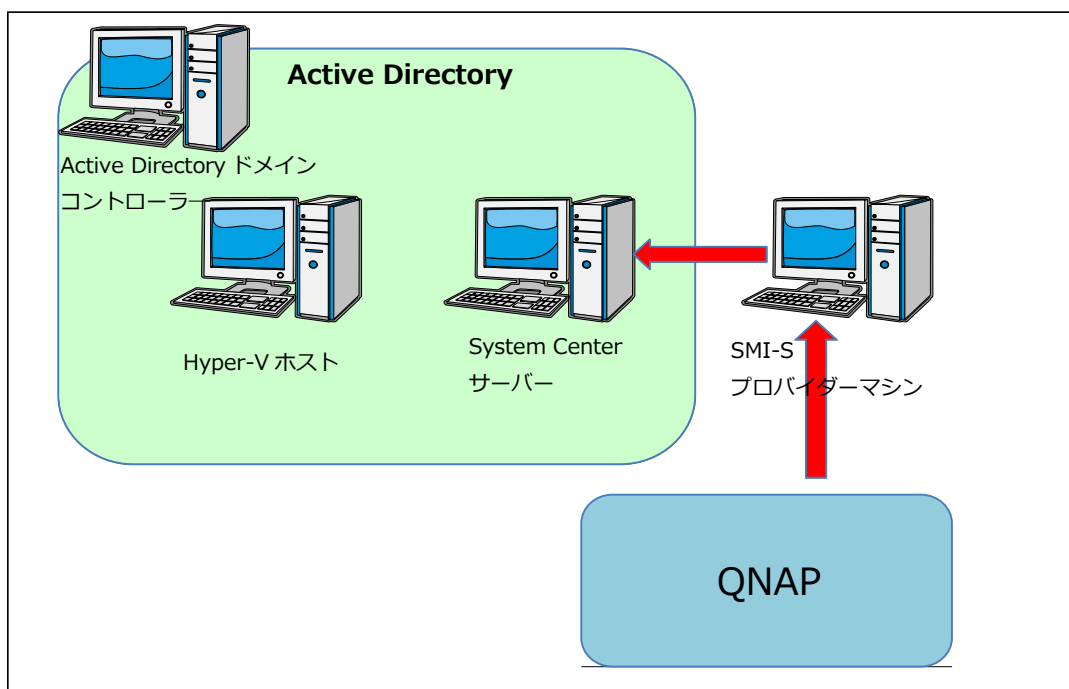
本書はQNAPをMicrosoft System Centerと連携させる場合に使用するSMI-Sプロバイダーの設定とSystem Center側の設定について記述してあります。QNAPは通常のiSCSIストレージとして接続も可能ですが、SMI-Sプロバイダーを経由してSystem Centerと接続することによりSystem Centerより柔軟にストレージ領域の提供が可能になります。

System Center 連携に必要なもの

System Center 連携する場合、以下のWindows マシンが必要となります

- Active Directory ドメインコントローラー
- Hyper-V ホスト
- System Center サーバー
- SMI-S プロバイダーマシン

System CenterはActive DirectoryにHyper-VホストとSystem Centerサーバーが登録されている必要はありますが、SMI-SプロバイダーマシンはActive Directoryに登録されていなくとも連携は可能です、今回の手順はSMI-SプロバイダーマシンがActive Directoryに登録されていない場合の手順となります。

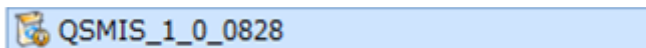


SMI-S プロバイダーインストール

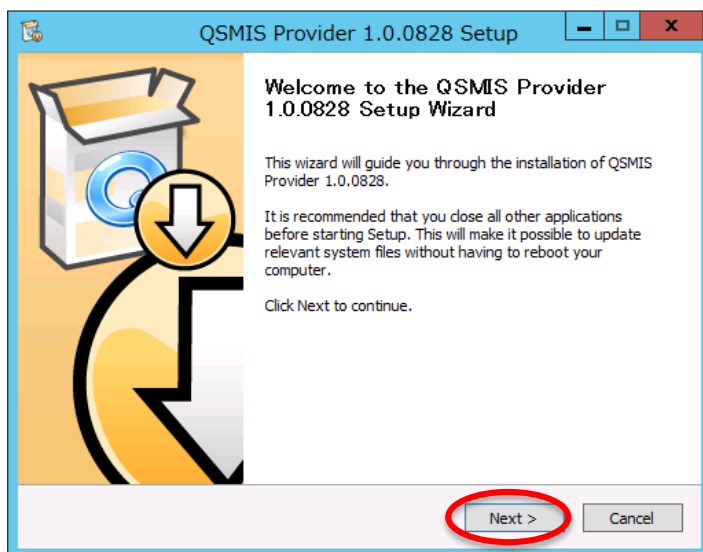
1. SMI-S プロバイダーマシンから Web ブラウザで QNAP ダウンロードセンター
(http://www.qnap.com/v3/en/product_x_down/product_down_catt.php?csn=4&p_cat=1) にアクセスし、QSMIS インストールモジュールをダウンロードします。

(QNAP SMI-S Provider)

2. SMI-S プロバイダーマシンにて、インストールモジュールをダブルクリックします。

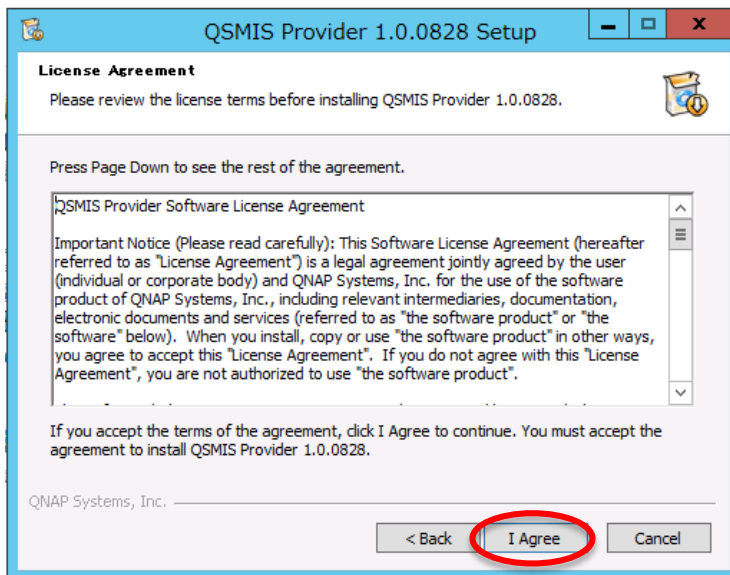


3. インストーラーが起動します。



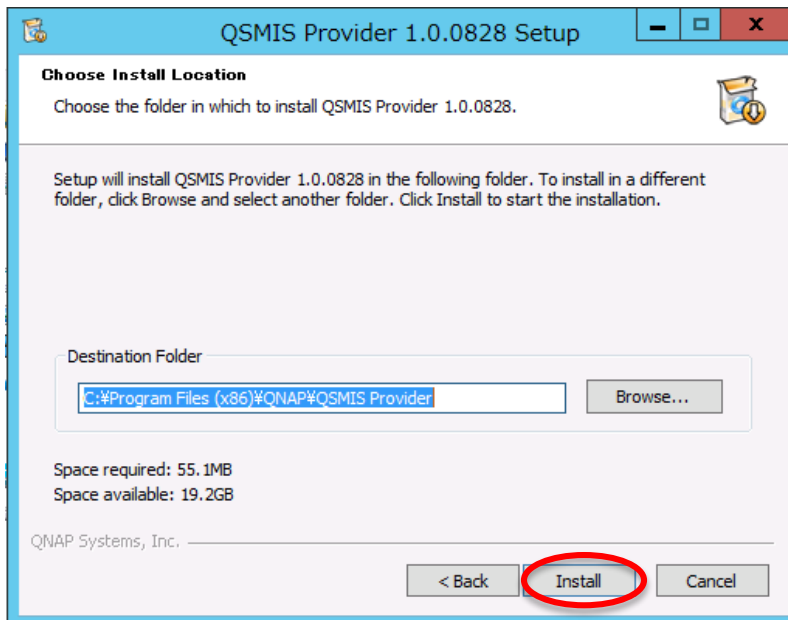
4. [Next]をクリックします。

5. ライセンス認証へ移ります。



6. [I Agree]をクリックします。

7. インストール場所の確認へ移ります。



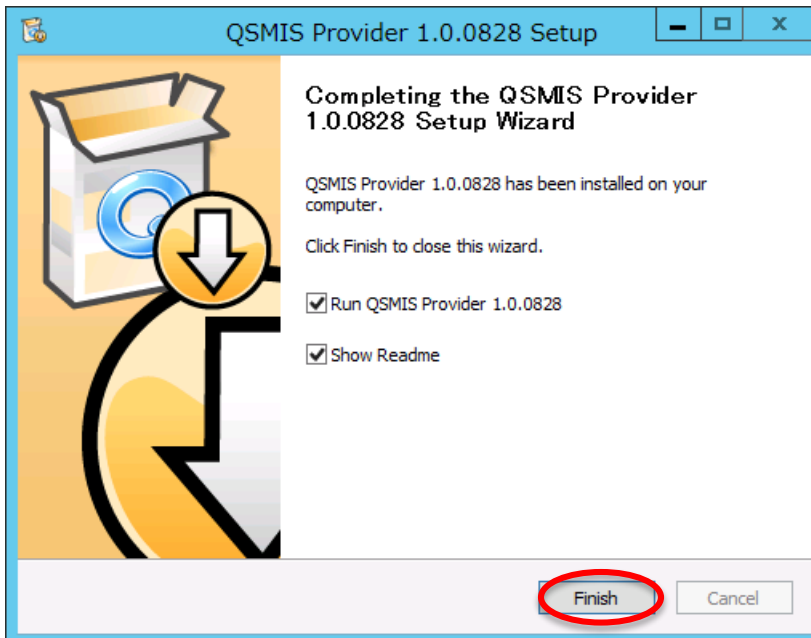
8. [Install]をクリックします。

9. インストール後、認証の確認へ移ります。



10. [Next]をクリックします。

11. インストール完了へ移ります。

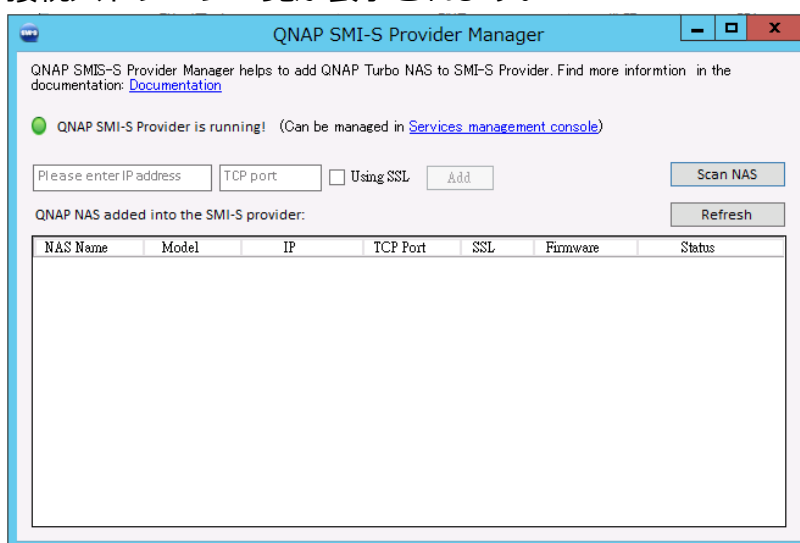


12. [Finish]をクリックします。

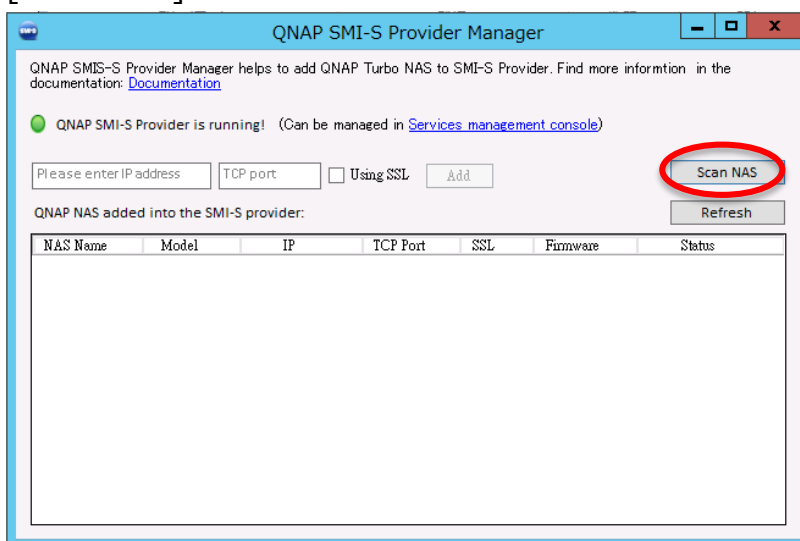
13. インストール後、SMI-S プロバイダーのアイコンが作成されていれば完了です。

SMI-S プロバイダーと QNAP の接続

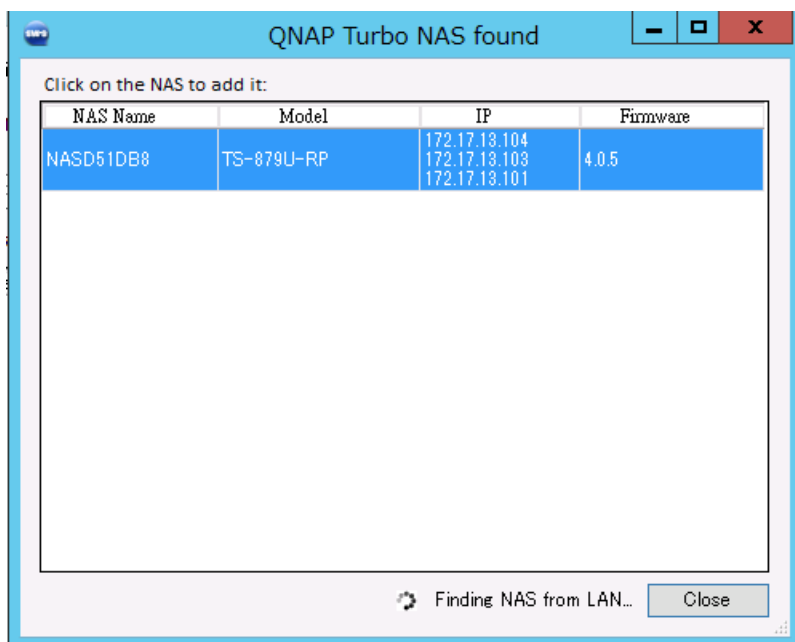
1. SMI-S プロバイダーのアイコンをダブルクリックします。
2. プロバイダーが起動します。
3. 接続ストレージ一覧が表示されます。



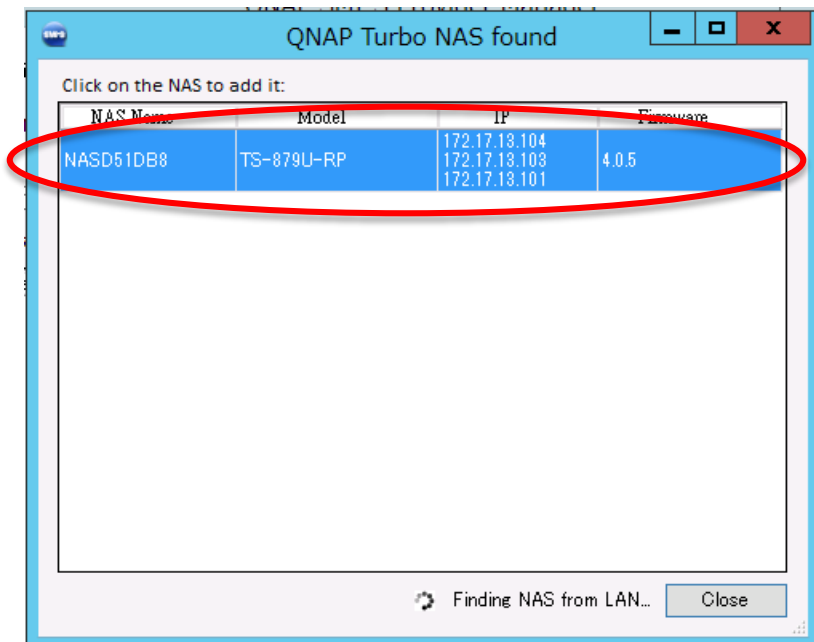
4. [Scan NAS]をクリックします。



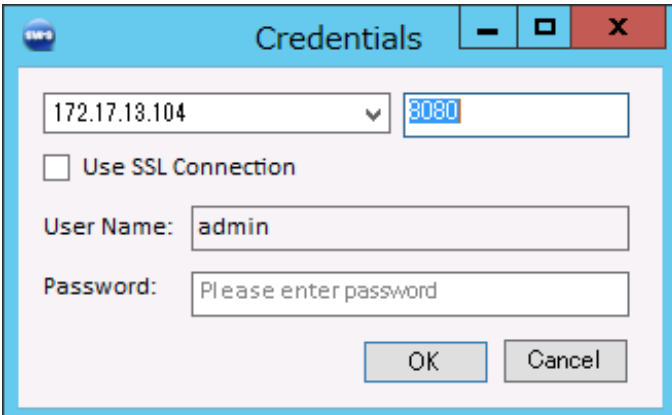
5. ストレージの検索ウィンドウが表示され、QNAP ストレージが見つかったら検索ウィンドウにストレージが表示されます。



6. 表示された QNAP ストレージを選択して右クリックします。



7. ストレージの認証画面が表示されます。



172.17.13.104 8080

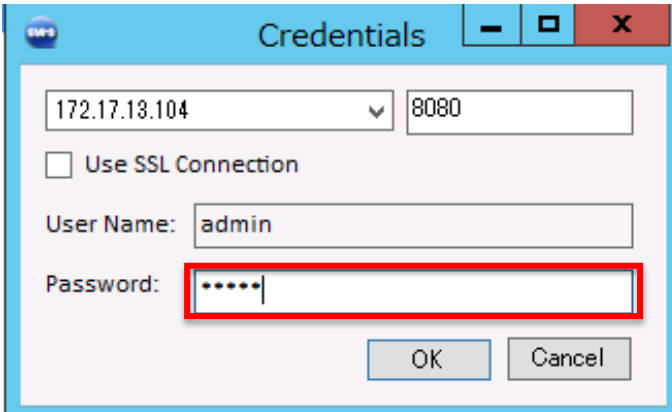
Use SSL Connection

User Name: admin

Password: Please enter password

OK Cancel

8. パスワードを入力します。



172.17.13.104 8080

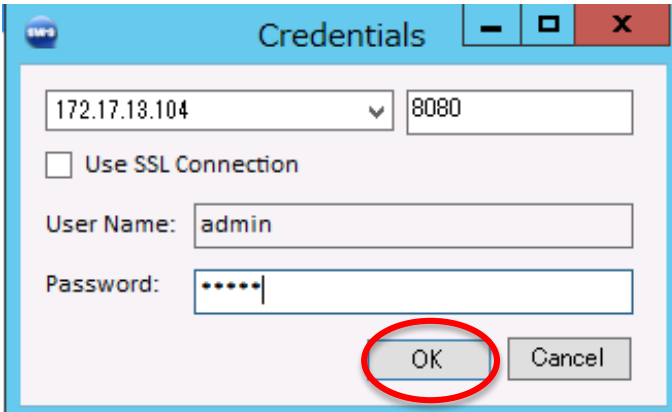
Use SSL Connection

User Name: admin

Password:

OK Cancel

9. [OK]をクリックします。



172.17.13.104 8080

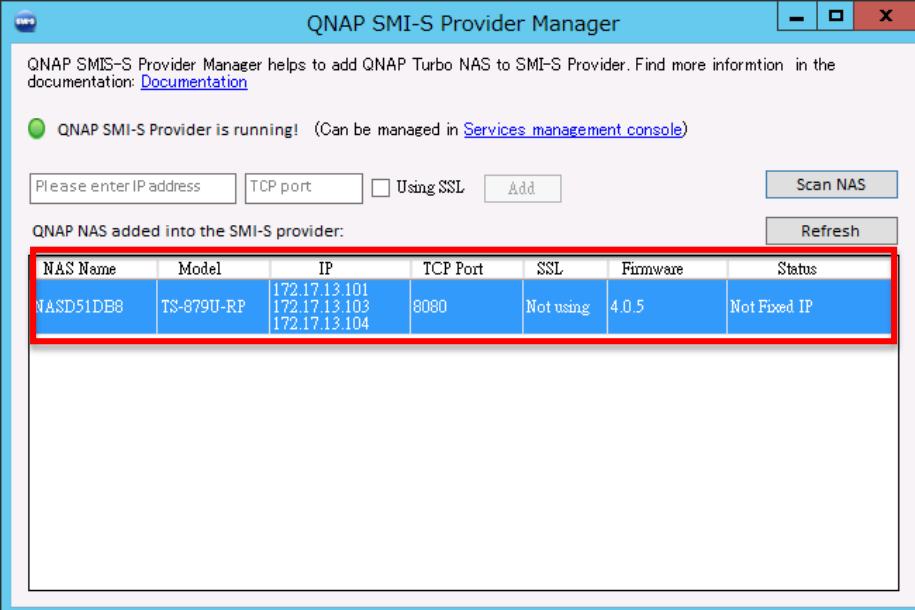
Use SSL Connection

User Name: admin

Password:

OK Cancel

10. ストレージ一覧に QNAP ストレージが追加されます、これで SMI-S プロバイダー側の設定は完了です。



The screenshot shows the QNAP SMI-S Provider Manager interface. At the top, it says "QNAP SMI-S Provider Manager" and provides a link to documentation. Below that, a green status indicator indicates "QNAP SMI-S Provider is running!". There are input fields for "Please enter IP address" and "TCP port", a checkbox for "Using SSL", and an "Add" button. A "Scan NAS" button is also present. Below the input fields, it says "QNAP NAS added into the SMI-S provider:" and a "Refresh" button. A table is displayed with the following data:

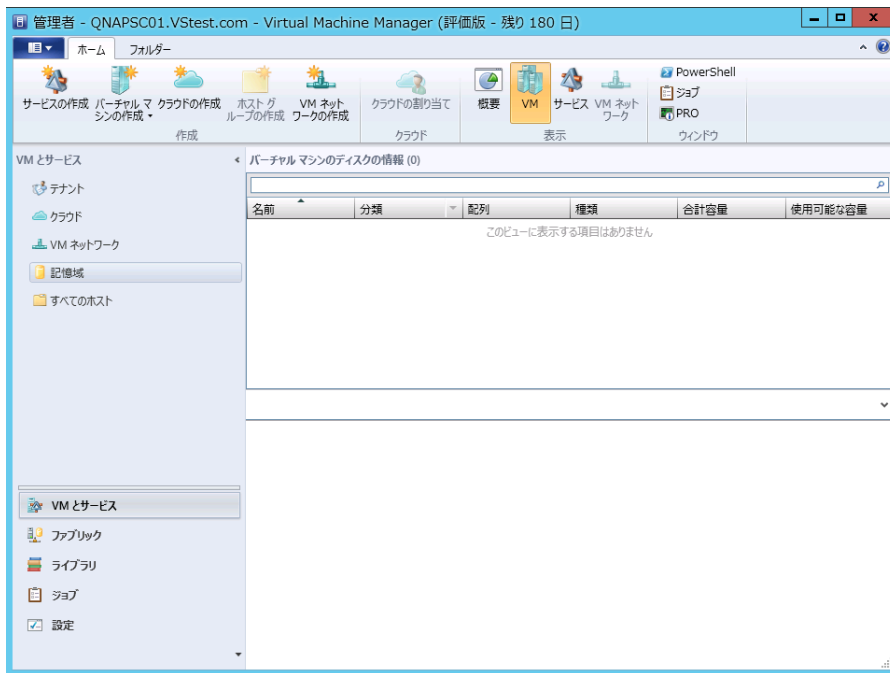
NAS Name	Model	IP	TCP Port	SSL	Firmware	Status
NASD51DB8	TS-879U-RP	172.17.13.101 172.17.13.103 172.17.13.104	8080	Not using	4.0.5	Not Fixed IP

System Center と SMI-S プロバイダー連携

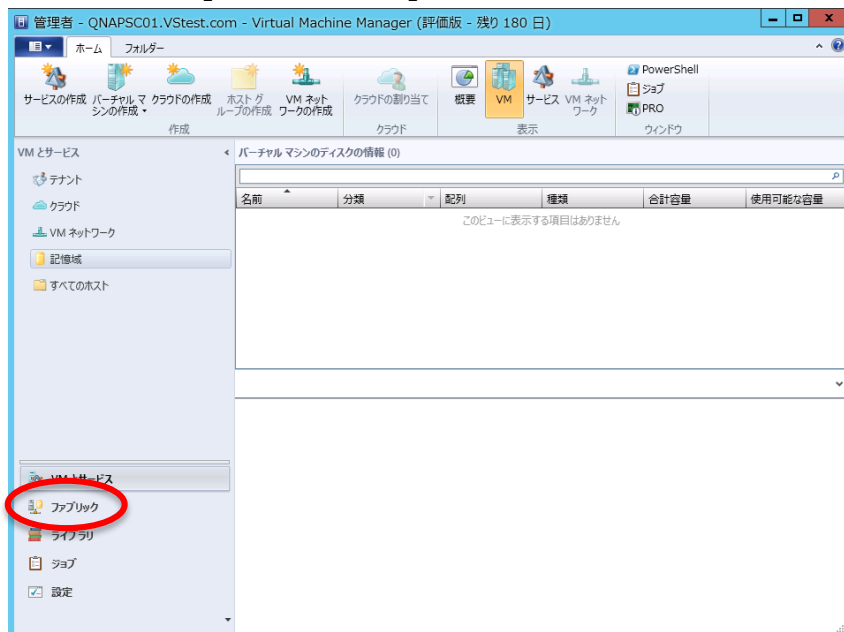
1. System Center サーバーでアイコンをダブルクリックして、System Center Virtual Machine Manager (SCVMM)を起動します。
2. 接続確認ウィンドウが起動します。
3. [接続]をクリックします。



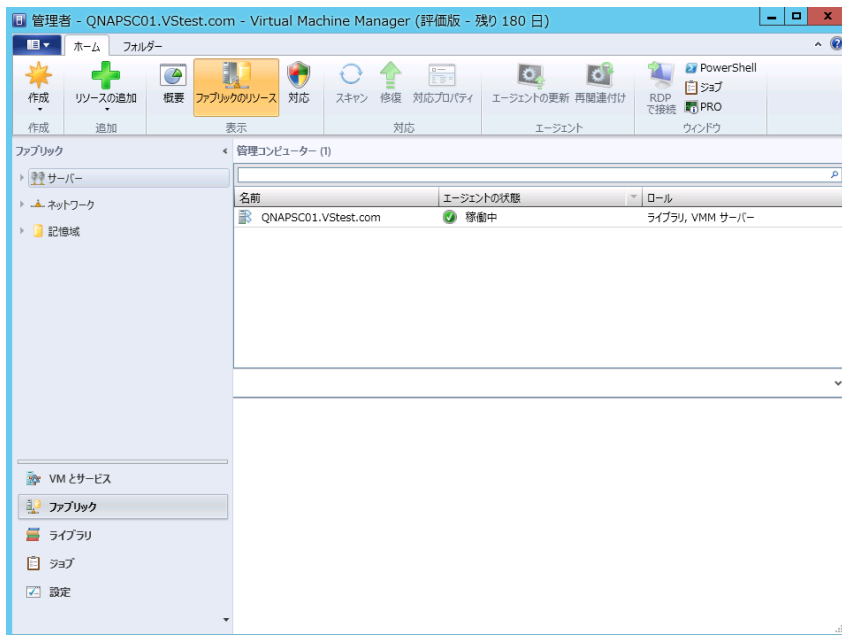
4. 管理ウィンドウが表示されます。



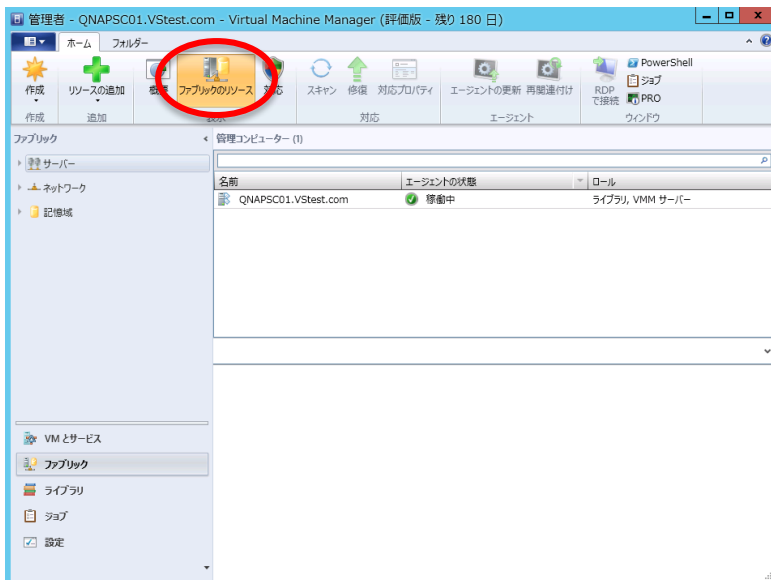
5. 左メニューの[ファブリック]をクリックします。



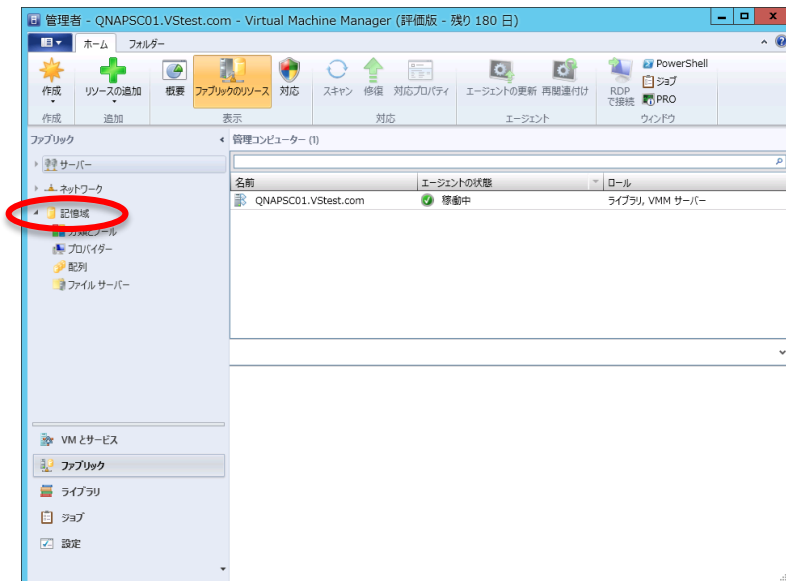
6. メニューバーがファブリックのメニューに変わります。



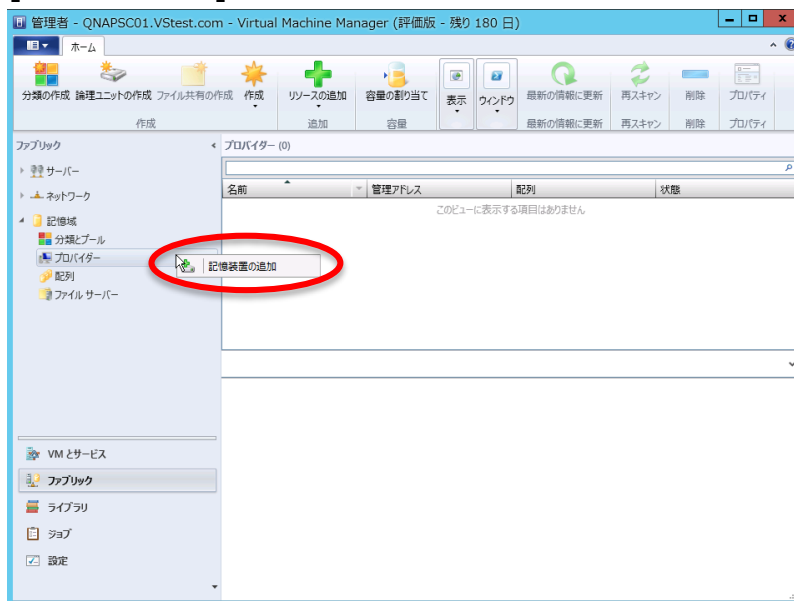
7. メニューバーの[ファブリックのリソース]をクリックします。



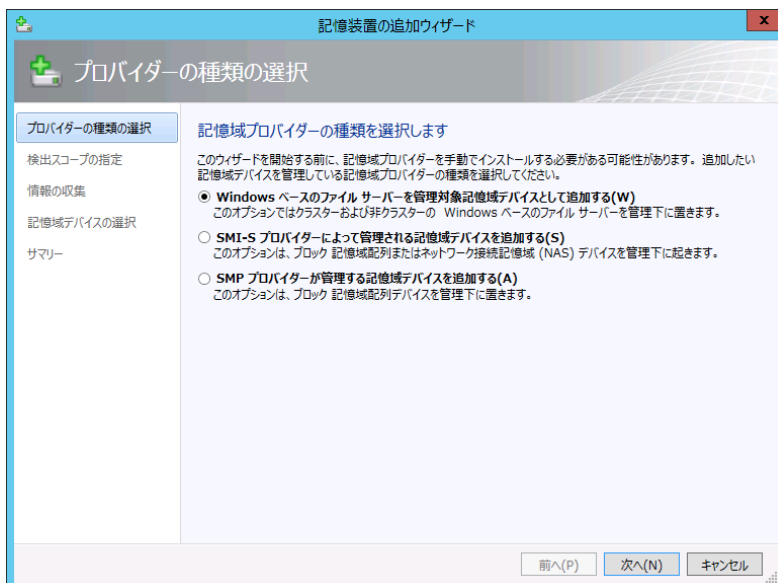
8. ウィンドウ左の[記憶域]アイコンを右クリックします。



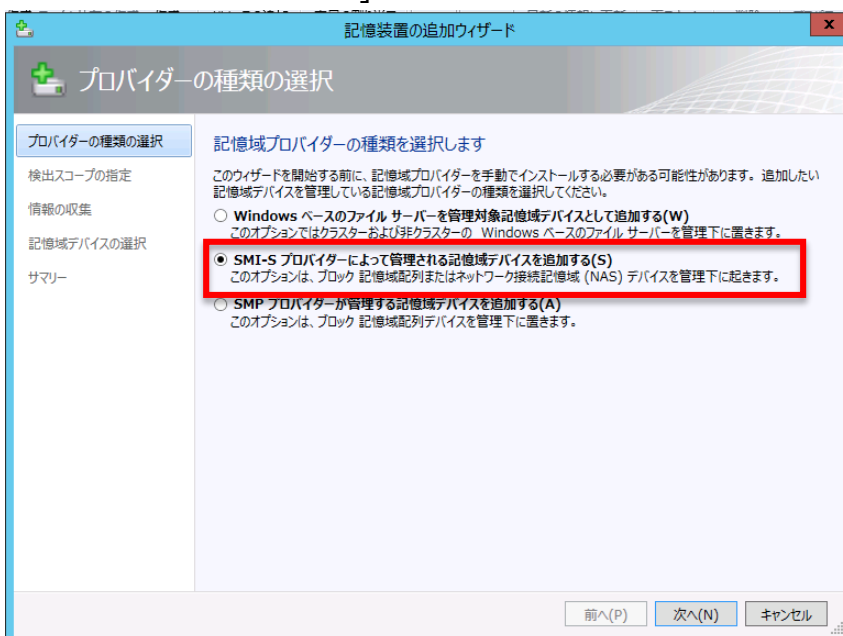
9. [記憶域の追加]メニューが表示されますのでクリックします。



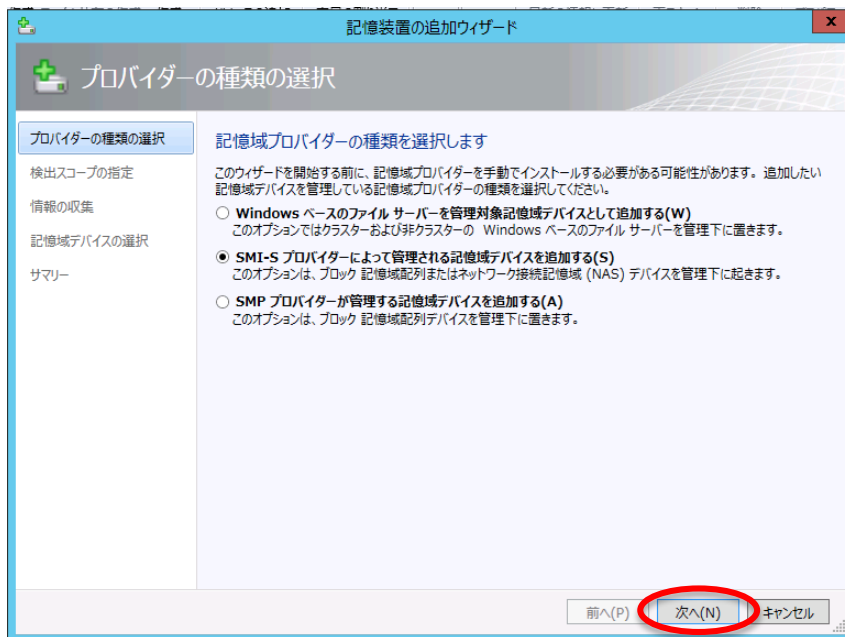
10. 記憶装置追加ウィザードが起動します。



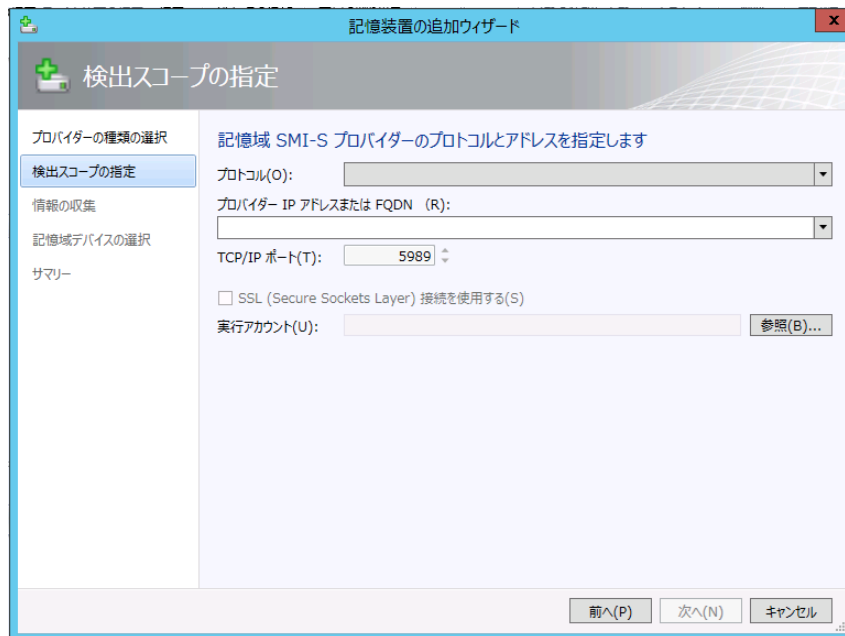
11. プロバイダーの種類を選択で[SMI-S プロバイダーによって管理される記憶域デバイスを追加する]にチェックを入れます。



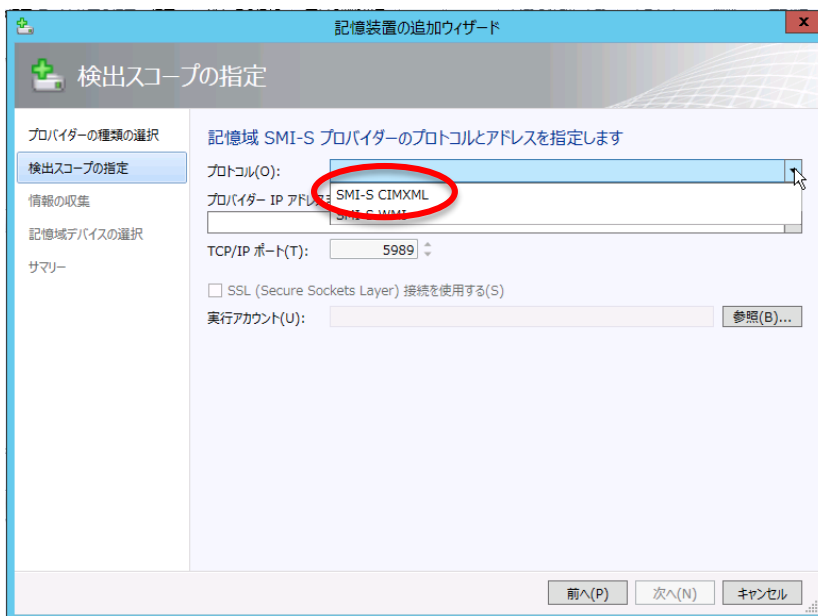
12. [次へ]をクリックします。



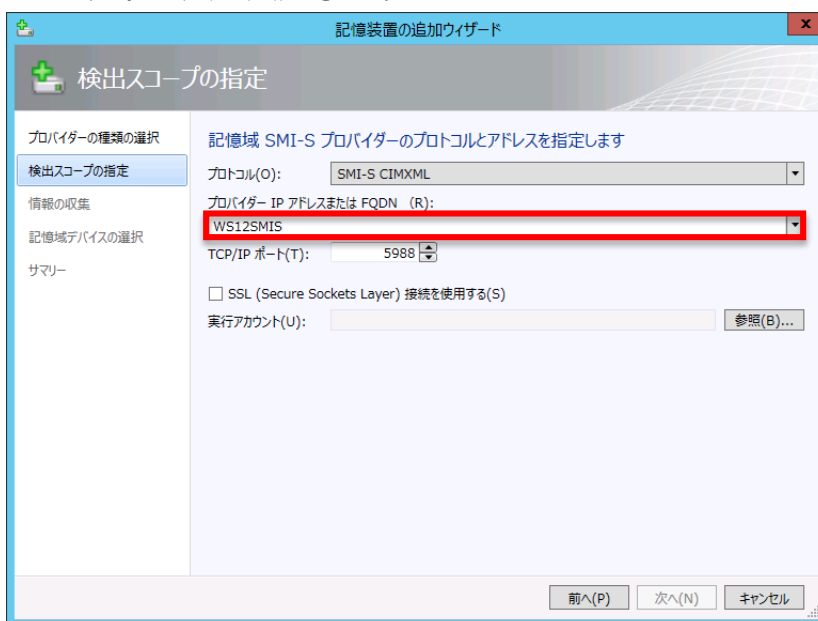
13. 検出スコープの指定へ移ります。



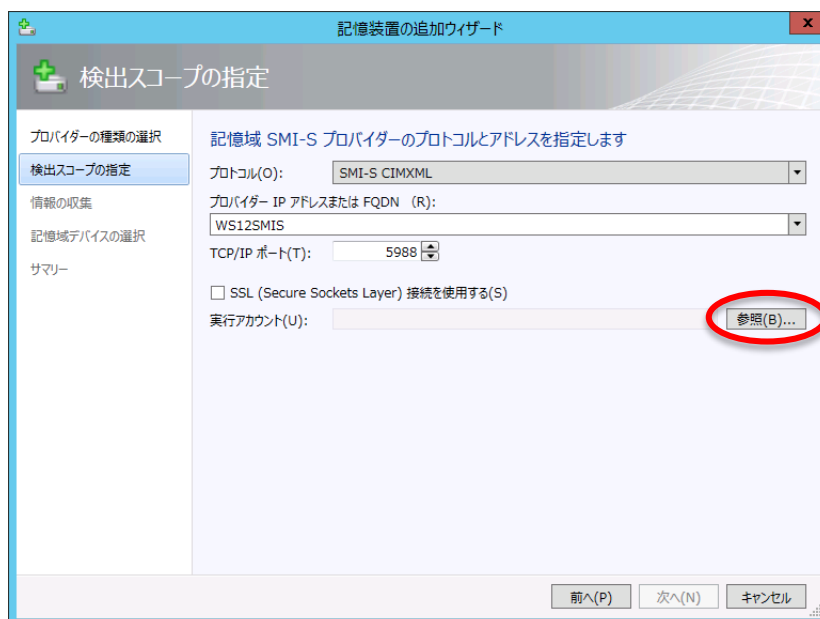
14. プロトコルの指定で[SMI-S CIMXML]をドロップダウンリストより選択します。



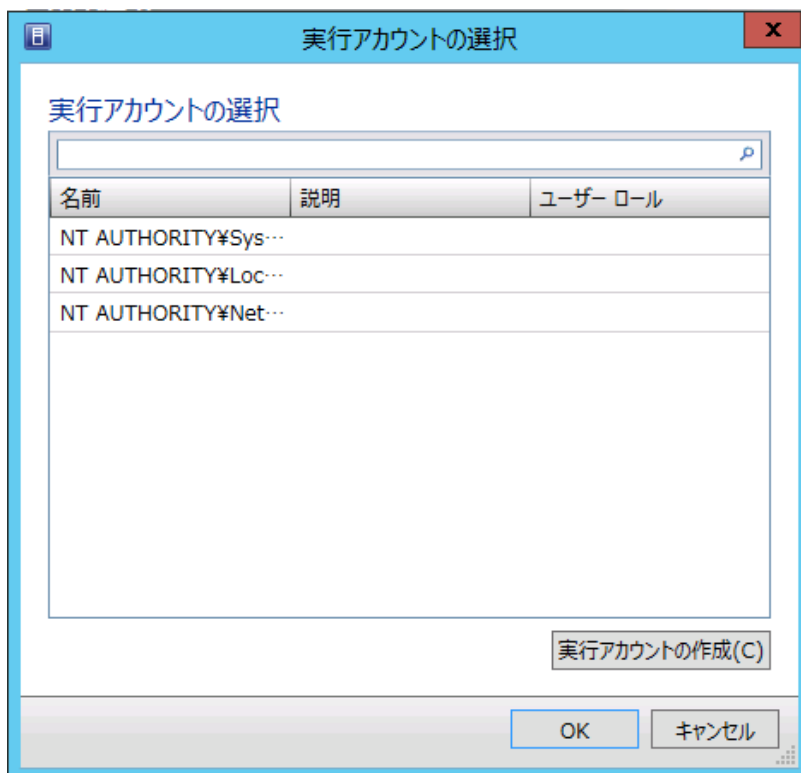
15. プロバイダーIP アドレスで SMI-S プロバイダーマシンのマシン名、もしくは IP アドレスを入力します。



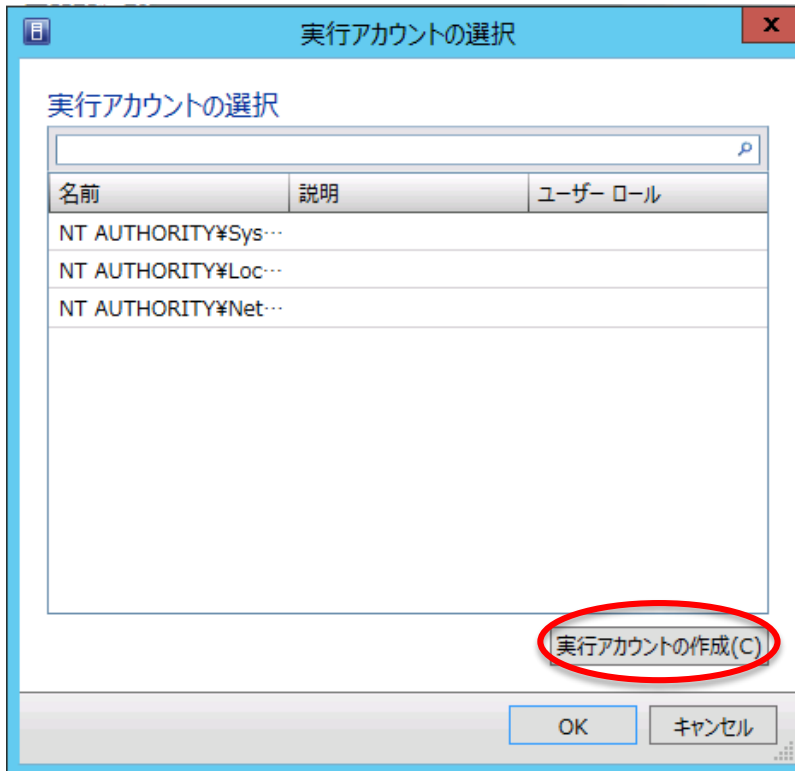
16. 実行アカウントの参照をクリックします。



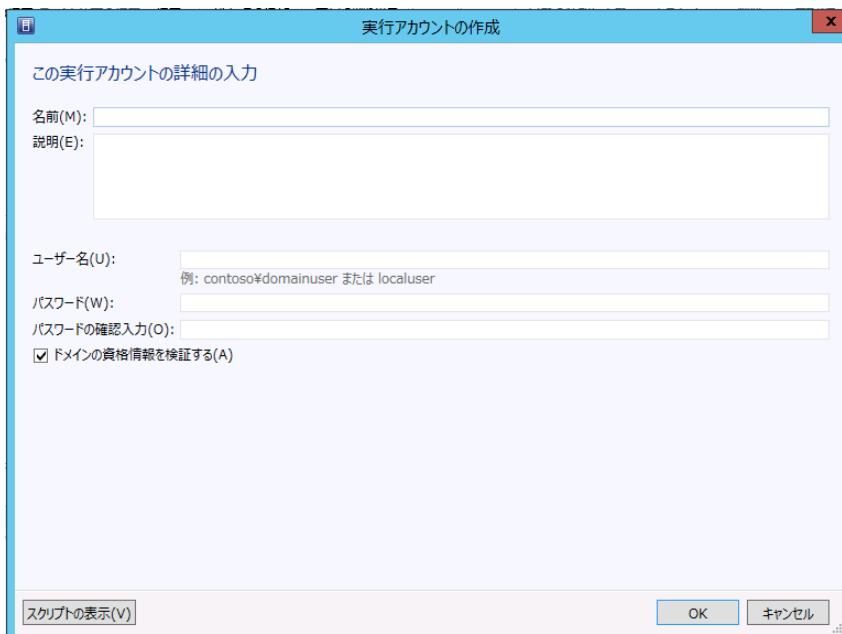
17. 実行アカウント選択ウィンドウに移ります。



18. [実行アカウントの作成]ボタンをクリックします。



19. 実行アカウントの作成ウィンドウが起動します。



20. アカウントの名前を入力します名前については任意で入力します。

実行アカウントの作成

この実行アカウントの詳細の入力

名前(M): QNAP SMIS ADMIN

説明(E):

ユーザー名(U):
例: contoso%domainuser または localuser

パスワード(W):

パスワードの確認入力(O):

ドメインの資格情報を検証する(A)

スクリプトの表示(V) OK キャンセル

21. 「SMI-S プロバイダーインストール」の「手順 9」で入力したローカルユーザー名をドメイン付きで入力します。

実行アカウントの作成

この実行アカウントの詳細の入力

名前(M): QNAP SMIS ADMIN

説明(E):

ユーザー名(U): WS12SMIS%Administrator
例: contoso%domainuser または localuser

パスワード(W):

パスワードの確認入力(O):

ドメインの資格情報を検証する(A)

スクリプトの表示(V) OK キャンセル

22. 上記ユーザのパスワードとパスワードの確認を入力します。

実行アカウントの作成

この実行アカウントの詳細の入力

名前(M): QNAP SMIS ADMIN
説明(E):

ユーザー名(U): WS12SMIS\Administrator
例: contoso\domainuser または localuser

パスワード(W): ●●●●●●●●
パスワードの確認入力(O): ●●●●●●●●

ドメインの資格情報を検証する(A)

スクリプトの表示(V) OK キャンセル

23. [ドメインの資格情報を検証する]のチェックを外します。

実行アカウントの作成

この実行アカウントの詳細の入力

名前(M): QNAP SMIS ADMIN
説明(E):

ユーザー名(U): WS12SMIS\Administrator
例: contoso\domainuser または localuser

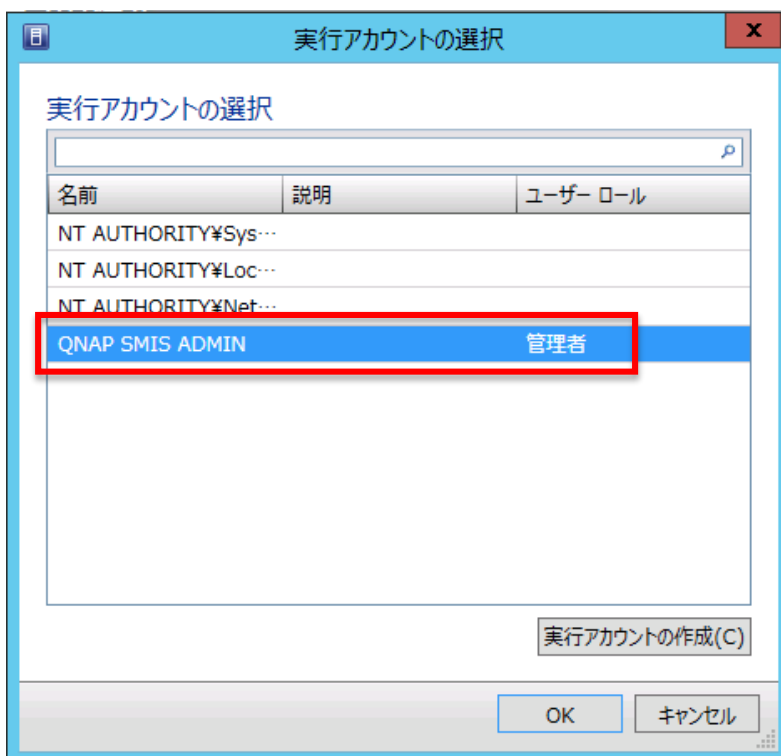
パスワード(W): ●●●●●●●●
パスワードの確認入力(O): ●●●●●●●●

ドメインの資格情報を検証する(A)

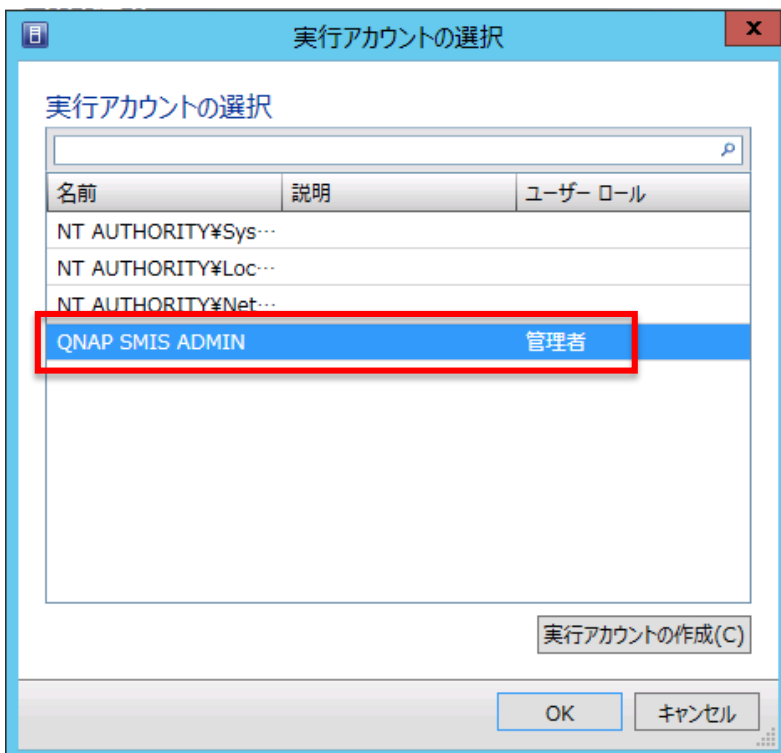
スクリプトの表示(V) OK キャンセル

24. [OK]をクリックします。

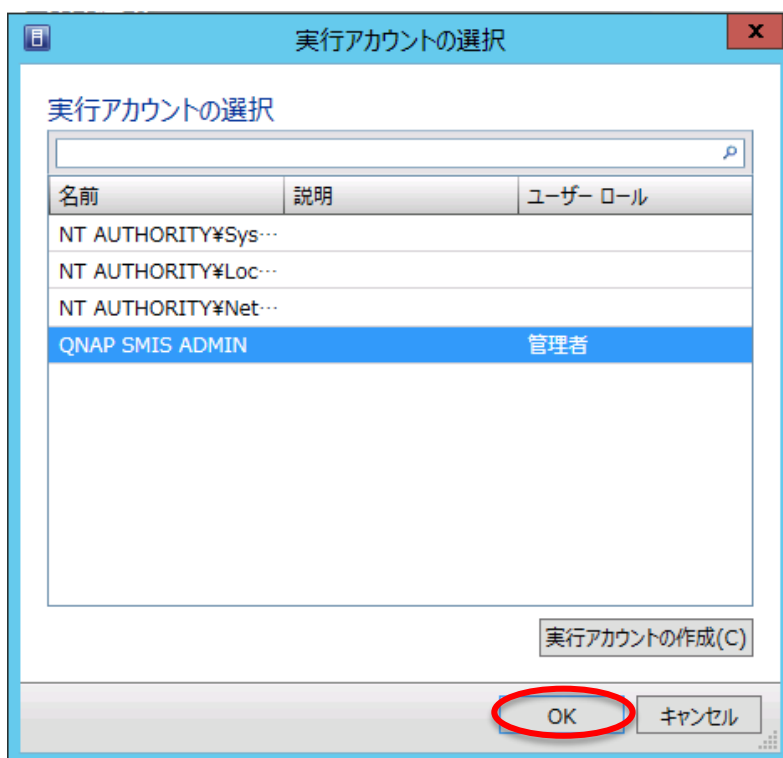
25. 実行アカウントの作成ウィンドウが終了し、実行アカウントの選択ウィンドウに戻ると作成したアカウントが追加されています。



26. 作成した実行アカウントを選択します。

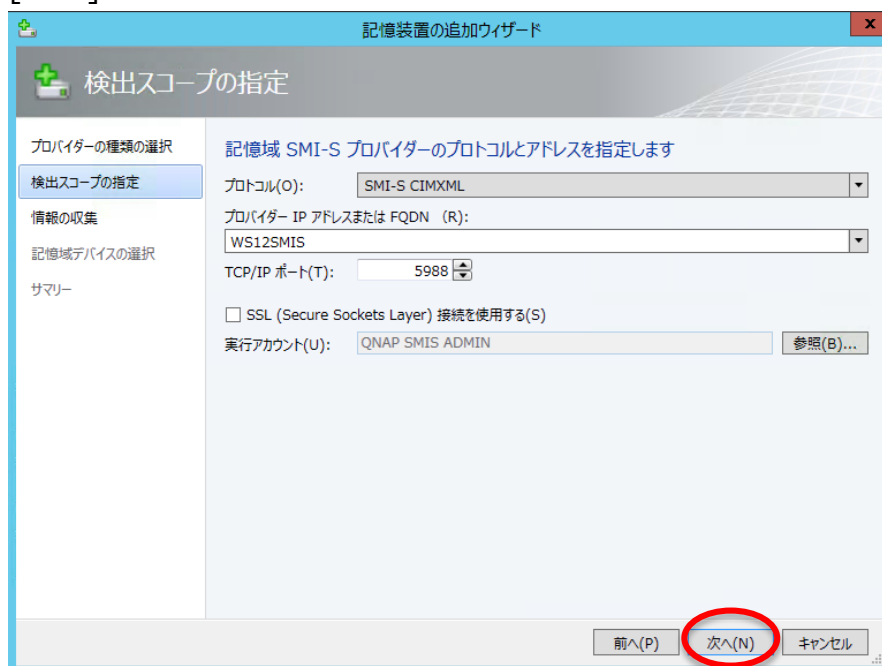


27. [OK]をクリックします。

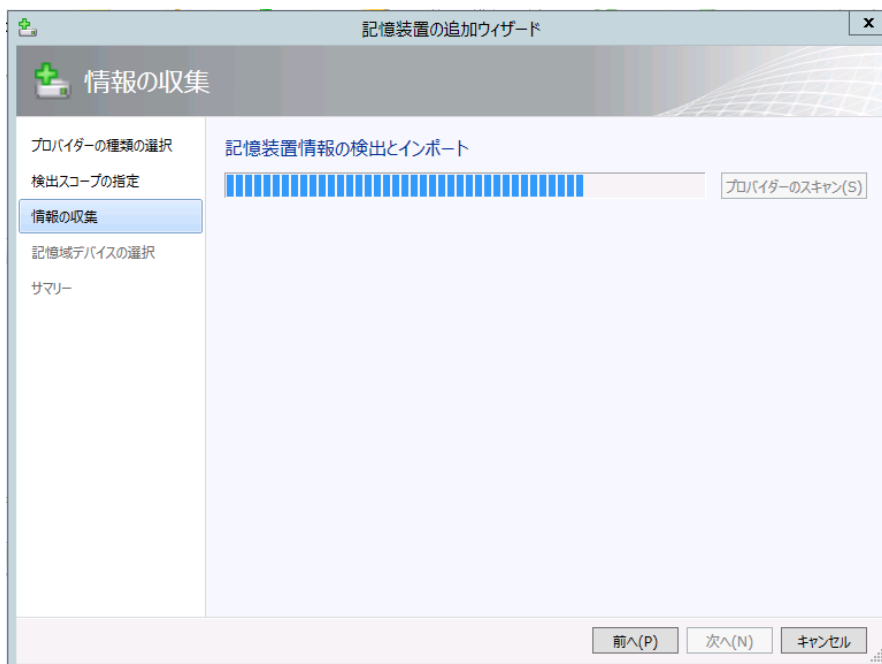


28. 実行アカウントの選択ウィンドウが終了します。

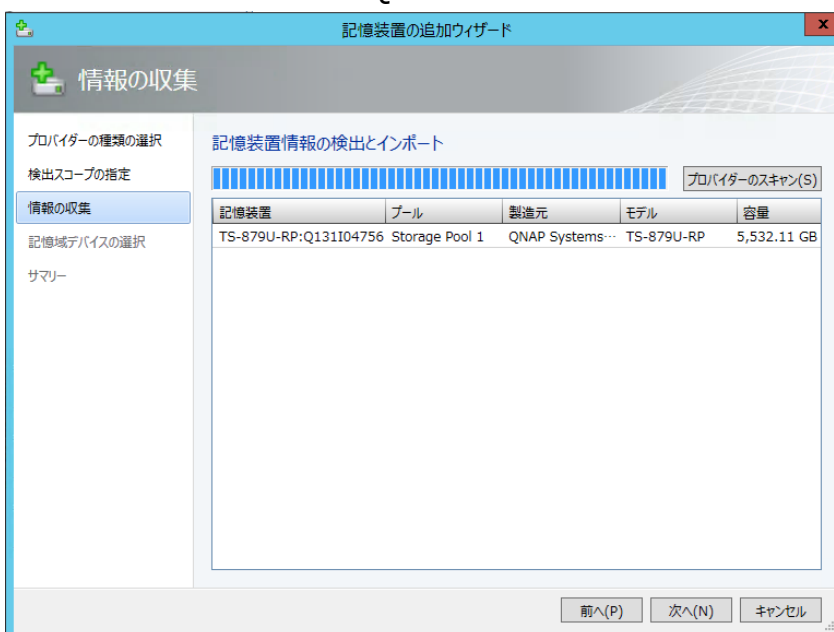
29. [次へ]をクリックします。



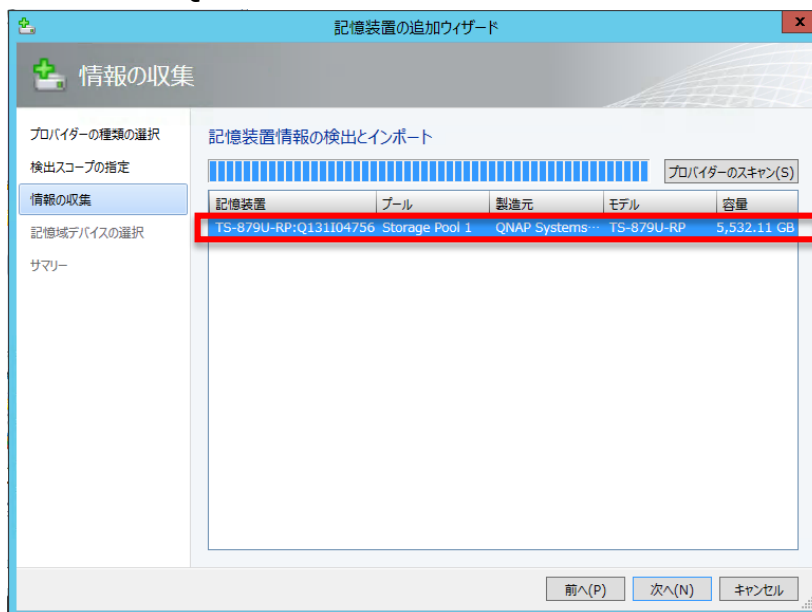
30. 記憶装置の検出とインポートが開始されます。



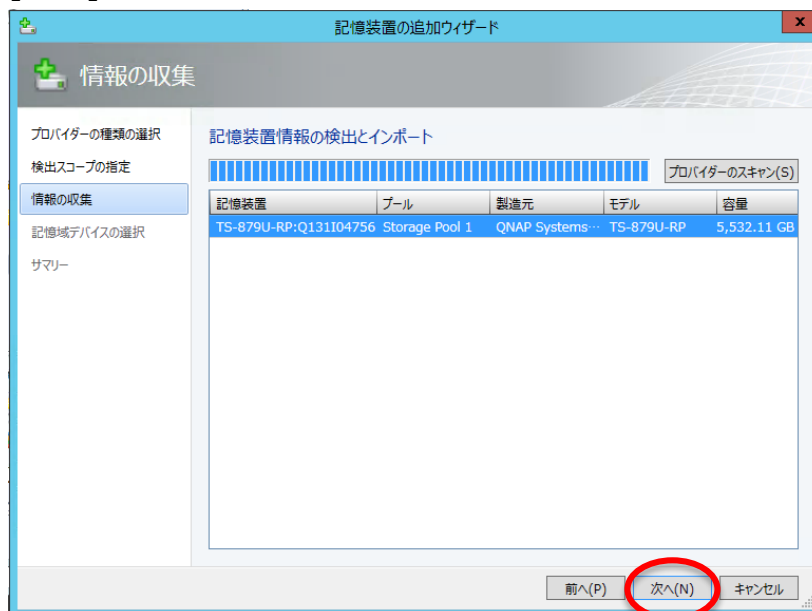
31. インポートが終了すると QNAP のデバイスが表示されます。



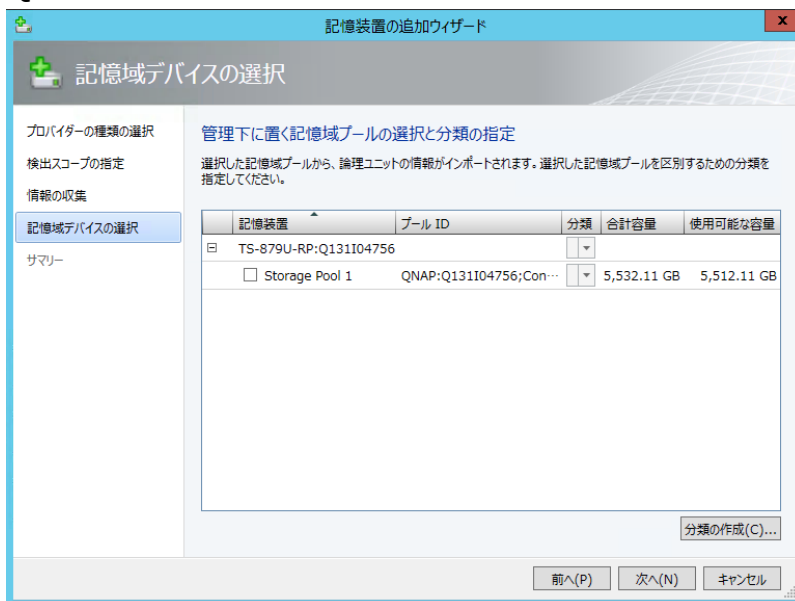
32. 表示された QNAP デバイスをクリックして選択します。



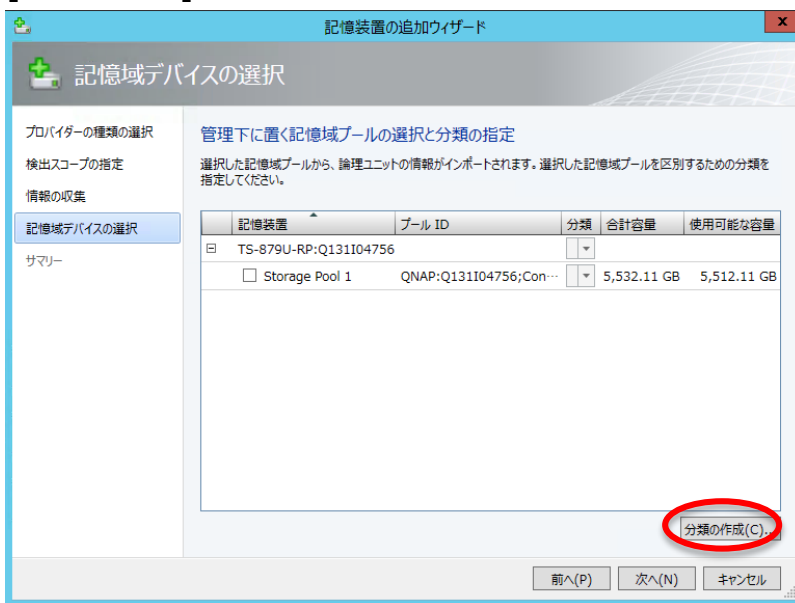
33. [次へ]をクリックします。



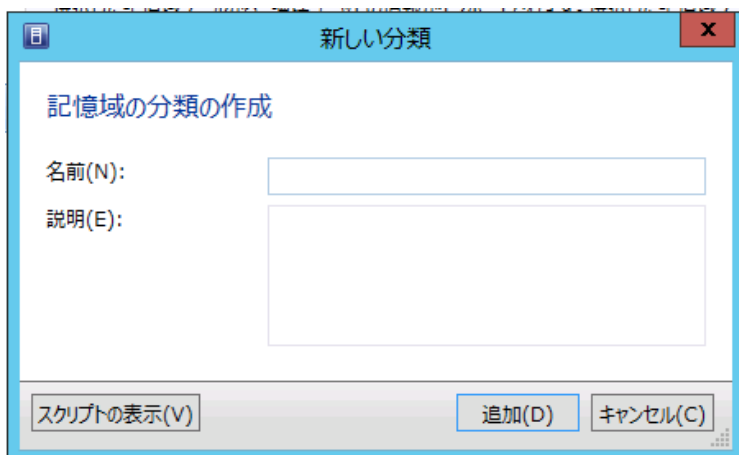
34. QNAP デバイスで管理する記憶域プールの選択へ移ります。



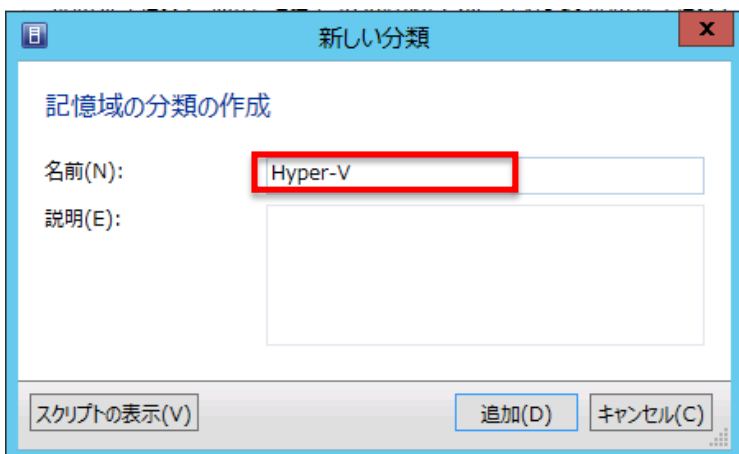
35. [分類の作成]をクリックします。



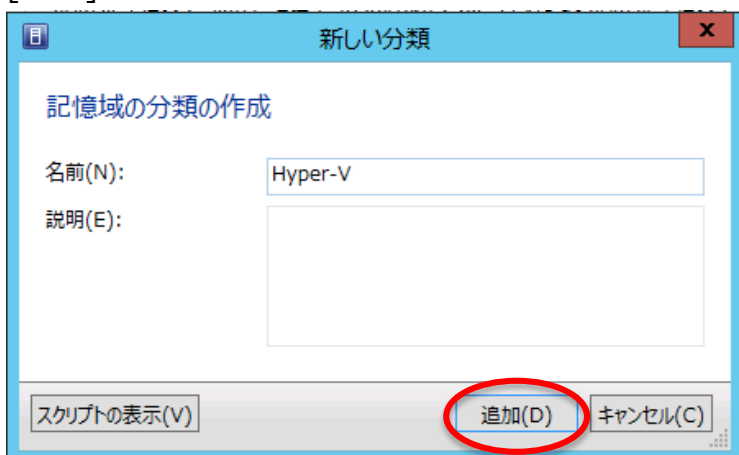
36. 分類の作成ウィンドウが起動します。



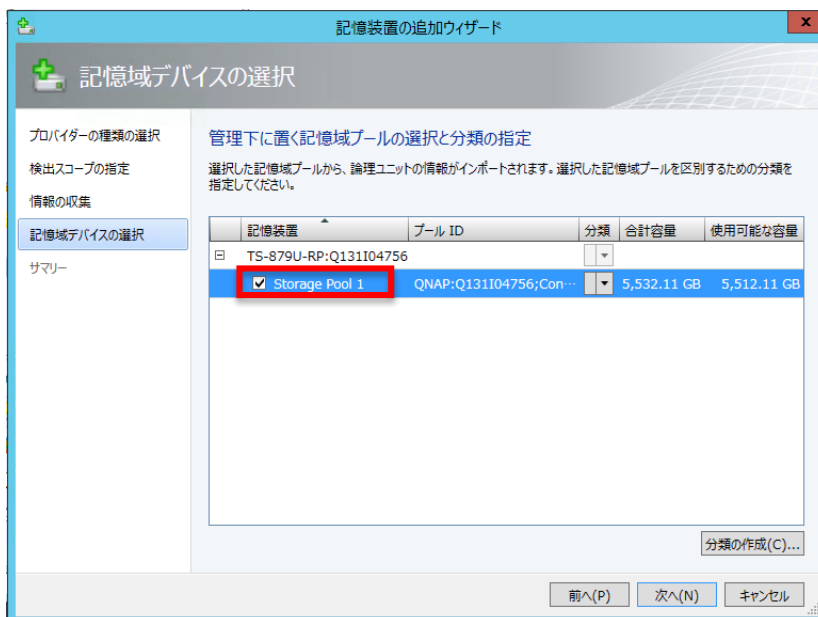
37. 任意の名前を入力します。



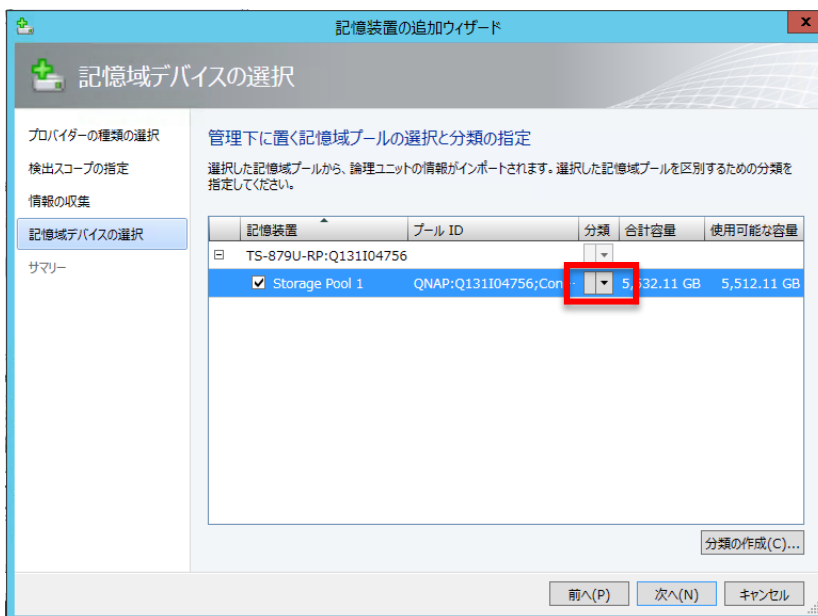
38. [追加]をクリックします、記憶デバイスの選択へ戻ります。



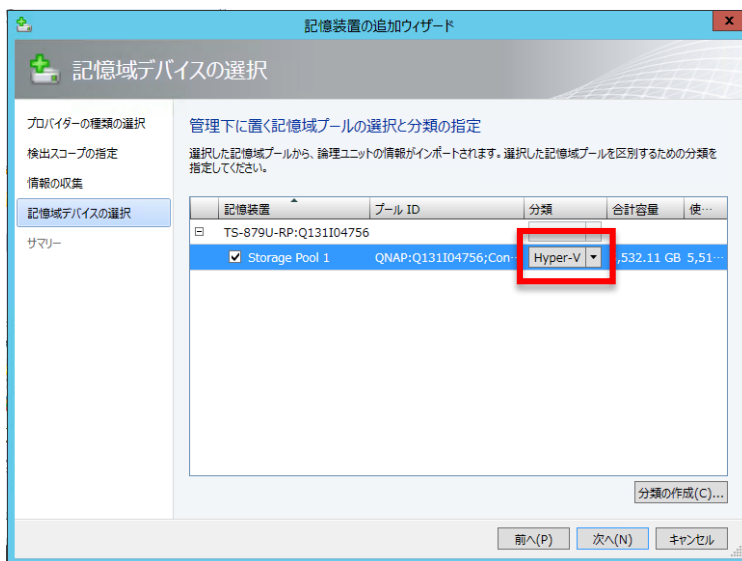
39. 管理するストレージプールにチェックを入れます。



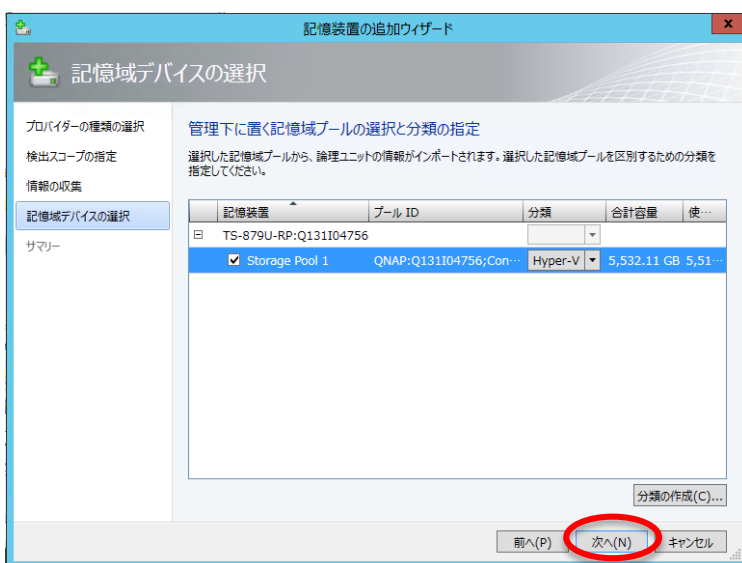
40. 分類のドロップダウンリストをクリックします。



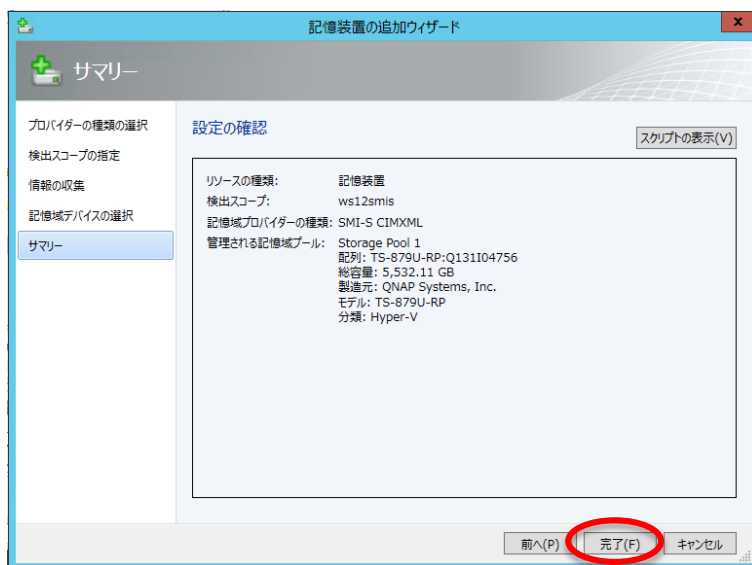
41. 追加した分類を選択します。



42. [次へ]をクリックします。

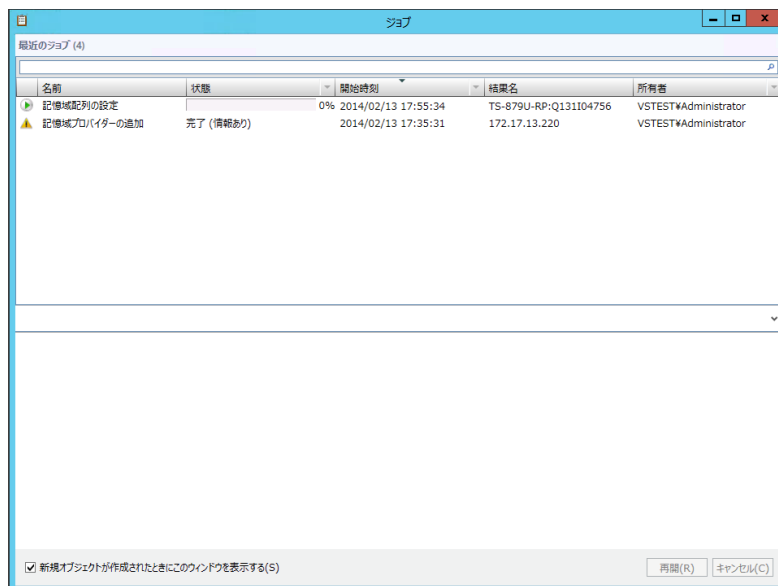


43. 設定の確認へ移ります。



44. 問題なければ[完了]をクリックします。

45. 追加ジョブが起動し、実行状態のウィンドウが表示されます。



46. ジョブが成功後、プロバイダーが追加されていれば完了となります。

